

# すきやねん

第40号

令和4年7月10日  
発行 周枳公民館  
住所 千629-2503  
京丹後市大宮町周枳  
周枳区(自治会)内  
☎0772)64-4417(自治会)

**周枳区人口**  
**745戸**

男:861人 女:925人  
計:1,786人  
(R4.4.1現在)

第一小学校 男子:47人 女子:61人 計:108人  
大宮中学校 男子:31人 女子:25人 計:56人

## 館長あじさつ



公民館長 田中 順一

専門部・関係団体の活動をメインに掲載していましたが、昨年度は、公民館活動や周枳区の歴史に係ること、周枳区に越された方へのインタビュー等時機に応じた内容で年3回発行することが出来ました。これも区民の皆様のご理解ご協力の賜物と感謝申し上げます。今年度につきましても今までの活動を引き継ぎコロナ禍の対応も考慮しながら進めていきたいと思っております。特に研修旅行については、従来と形を変えて実施したいと考えています。具枳区の取り組みにご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。

す。区民の皆様におかれましても暑さを感じずますます清潔のこととお慶び申し上げます。また、周枳区公民館活動についてご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

公民館長を拝命して2年目を迎えました。昨年度もコロナ禍の中、予定していた公民館活動も十分に実施する事が出来ず、区民の皆様にはご心配やご迷惑をお掛けしましたこと大変申し訳なく感じております。その中でもクリーン大作戦、公民館落語会、また、陶芸・染色体験教室主催による陶芸・染色体験教室を大宮ふれあい工房様のご協力を得ながら、十分な感染対策のもと実施することが出来ました。広報誌「すきやねん」についても年1回公民館活動や

います。

公民館活動は、周枳区をはじめ各種関係団体との連携、区民の皆様のご支援、ご理解なくして推進することは出来ませんのでご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

## 区長あじさつ



周枳区長 中西 真一郎

海開きの便りが届く頃になりました。区民の皆さまにおかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、周枳区の取り組みにご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。

いきたいと思っております。主なものとしては、隣組長会で「承認を頂いた区費の検討委員会」立ち上げや、予算に計上させていただきました、「ゴミ収集用「ゴミかご」の隣組単位での修繕、取替えを進めてまいります。また、府や市の有利な制度を積極的に活用し、道路の溝蓋の設置や、公民館のエアコン取替え、農道や

水路の整備・修繕などに取り組み、皆様か過ぎやすい地域づくりに努めてまいります。

まだまだ力不足で、ご迷惑をおかけしてありますが、引き続きお進めていきますので、引き続きお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

区長就任以来、私は「区民の皆様の声をお聞きして区の運営を進める」をモットーにしてきました。皆さまの声を事業にも反映させ、周枳区を盛り上げていきたいと考え、話しかけて下さい。隣組単位、個人でも結構です。皆様の声を聞かせて頂ければ幸いです。

笑顔あふれる元気な周枳区』にしていきましょう。

## 今年の主な公民館の予定

八月	陶芸染色体験教室
八月	盆踊り大会
十月	区民文化祭
十一月	日帰り研修(京丹後市内)
一月	初笑い公民会落語会
二月	親子手作りパン教室

※新型コロナウイルスによる変更あり

# 周知さくらまつり

コロナ禍の影

響で2年連続中止となった春の恒例行事「周知さくらまつり」。今年からは新型コロナウイルスの感染防止を考えたから、会場を区民グラウンドに変更して行いました。



「館長の開会あいさつでスタート」

今回は夜桜のライトアップを大幅に拡大しました。市の交付金で照明用防水LED電灯を15セット購入し、グラウンド土手の約20本の桜を照らししました。ライトアップ期間は約10日間程度でしたが、満開時の夜桜はとてもきれいでした。

会場では例年のような模擬店やアルコール販売は行わず、団子の無料プレイゼントやキッチンカーによる軽食の販売、クレープや手作りパンの販売、くじ引きなど楽しんでいただきました。



「クレープは人気。速攻で完売」

さくらまつり当日は、桜も三分咲き程度で満開にはまだまだこれから、というところでしたし、天候もやや肌寒い日となりましたが、多くの親子連れの方々に来ていただきました。



「ウィーンコンサートに挑戦中」



「夜桜ライトアップはきれいでした」

## 空き缶2み拾い クリーン大作戦

田中公民館長の「今日は暑い日になります、熱中症に気を付けながら、みんな一緒に頑張って、ゴミのないきれいな周知をつくりましょう」という挨拶のあと、5つの班に分かれて区内を歩いて回りました。親子や夫婦、友達同士の参加など、約50人の方々に世話になりました。いつものながら、特にゴミが多かったのは織物ホールから京丹後大宮インター方面と、入道峠方面の道路沿いです。ほとんどが車からのゴミ捨てと思われる

今年もこんな標語をネットで見つけました。  
「落ちたゴミ、拾う心が、すてきだね」  
素敵な人がたくさん住む周知をつりましょう。



「親子で参加しました」



「多くの方にお世話になりました」



「子どもたちも頑張りました」



「あちこちにゴミが」



「日除け対策も万全です」



「軽トラツーカー一杯になりました」

## 周枳地区PTAです

PTA周枳地区代表松村博志

本年度大宮第一小学校PTA周枳地区代表に選出されました松村です。

令和4年5月25日にPTA行事としてサツマイモの苗植えを行いました。

サツマイモってどうやってできた？最近は何育所などでも作っているから知っている子どももいますが、

実際に苗を植えたことはない子どもも結構いるみたいです。

「今から苗を渡すので、斜めに植えていってください」話を聞いて

いなかっただのか10本ほどまとめて植えていました(汗)。

コロナの影響で参加人数もすくなかったので心配しましたが、40名程度の児童の参加がありました。これ

からも感染対策を行いながらできるだけ皆さんの行事を行っていただきます

と思います。



「さつま芋の苗植え」



「さつま芋の苗植え」

## 周枳郷土史の現場を訪ねて

ちよつと寄り道

### 「周枳の井溝」

周枳井溝は今から350年前に作られた農業用水路です。春の各戸総出の「井溝掃除」は、水路の管理とともに、先人の偉業を後世に伝えるため、連続と続いている恒例行事です。

周枳郷土誌には「わが周枳村は山が浅いため自然流水が少なく、常に水が不足し、田が作れず、日照りによ

る被害もひどく、その対策に苦慮していたため、「徳川初期の1655

年頃に竹野川から水を引く工事にとりかかり、途中一時中断をばさん

で17年後の1672年に完成したとあります。



「区内各戸総出の井溝掃除」



用水路の総延長は4.8km、潤す田圃は400反におよぶ大水路で、周枳経済を支える重要インフラとして、完成から今にいたる350年の間、その役割を果たし続けています。井溝の長い歴史の中で、享保10年(1725年)には水の取り合いから、水路の通る谷内三坂両村と周枳村の間で紛争が起き、周枳が江戸幕府に直訴するという事件もありました。

また幕末の1860年には、36cm角で長さ1.8mの石材400本以上を

使い、竹野川に取水の堰が築かれました。高さ約3メートルの井溝取水

堰は、その壮観さから「丹後一のナイアガラの滝なり」と称されましたが、

昭和48年(1973年)の河川改修で撤去され、現在石材の一部は区民グラウンドに並べて置かれています。



「周枳勝訴の裁定を下した江戸幕府黒田豊前守」



「井溝八幡として祀った八幡神社」



「竹野川の井溝取水堰の石材」

幕府の寺社奉行黒田豊前守(とらぶぜんのかみ)の裁定で周枳村の勝訴が決着しましたが、この時、江戸

に出向いた周枳村の代表者は、鎌倉の鶴岡八幡宮に立ち寄り、勝訴と今

後の平和を祈願し、勧請して周枳村に八幡神社を建て「井溝八幡」として

祀りました。祠は現在大宮売神社境内に移築されています。

また幕末の1860年には、36cm角で長さ1.8mの石材400本以上を

使い、竹野川に取水の堰が築かれました。高さ約3メートルの井溝取水

堰は、その壮観さから「丹後一のナイアガラの滝なり」と称されましたが、

昭和48年(1973年)の河川改修で撤去され、現在石材の一部は区民グラ

ウンドに並べて置かれています。

# すずはくすは事

周枳に住む「〇が好き」な人に  
会って「すき」の魅力を聞きます



「永岡奏海さん」  
「ピアノは楽しい」  
「永岡奏海さん」  
大宮中学校三年生でピアノ演奏が大好きな永岡奏海

(かなめ)さん。ニューヨークのカーネギーホールや、京丹後市合併15周年記念式典で、ショパンやメンデルスゾーン曲を演奏するなど、大きな舞台での演奏経験も持ちます。

奏海さんのご家族は、お父さんがシンガソングライター「ダリル永岡」として活躍しておられる永岡靖彦さん、お母さんがピアノの重紀子さんという音楽一家。

カーネギーホールでの演奏はどうでしたか？と聞くと、「小学校五年生の時だったのですね、事前審査に合格し、ニューヨークに行くこと



「カーネギーホールでの演奏」

決まった時は本当にびっくりしました「でも本番は思ったより緊張せず、弾けたし、自分の中では大きな経験になりました」と、当時は振り返りながら笑顔でもとても楽しそうに話してくださいました。

ピアノを弾いていて「楽しいっ！」と思える瞬間は「難しい曲が仕上がった時」のこと。「オクターブと一緒にして」と、将来の夢も語ってもらいました。

ご両親から音楽のジャンルにとらわれず、経験を重ね、自分で道を切り開いて欲しいと熱烈応援のメールを受けながら今は音楽家の道を目指してレッスンに励む毎日。

トを開いてもらえたら嬉しいですね。



「音楽家目指して猛練習」



「クラシック以外の音楽もいっね」



夏は暑い。私が子どものころに比べて少なくとも2〜3度は高くなっていると思う。これも地球温暖化の影響なのだろうか？

暑い夏を快適に過ごす方法と言えば、今の昔も変わらず「涼」を求めることであろう。子どもの頃の夏の過ごし方で記憶に残っているのは、プールに行くことと冷えたスイカを食べることぐらいで

ある。午後1時になるのが待ち遠しく近い所の家の時計を見ながら待ち時間いっぱい遊んでいたの思い出される。また、夏の風物詩の一つにスイカがあるが今と違ってスイカ冷やす大きな冷蔵庫もなくタライに入れ水道水で冷やしていたが、井戸水と比べてそこまで冷え

たことも記憶に残っている。大人になるにつれて「涼」の求め方も変わってくる。プールが海になり、冷えたスイカが冷房の効いた喫茶店のアイスコーヒーになったりする。友だちと過ごした暑い夏が彼女や彼氏と過ごす楽しい夏に変わってきたりもする。と同時に仕事場や家庭にもエアコンが設置されるようになった。



「深谷(大井町)」  
方も随分と変わってきた。

エアコンの効いた部屋で快適に過ごすことも良いが、健康づくりの点から考えるとそれはかなりでは問題があると思

い、沢歩きや深谷のウォーキングや滝めぐりを始めた。早朝のウォーキングもよいが、木漏れ日の中、川から注ぐ風も気持ち

持ちかいものでもある。途中で朽ちた家屋や荒れた田畑に出会うときもある。そんな時は当時の人たちの生活などについて浮かべ、世の中の移り変わりについて改めて考えさせられるときもある。そんな先にある滝にたどり着き体いつぱいにフイスイオシ浴びた時の満足感は一入である。このほかにも道路から近い滝もあれば、道に沿って川が流れている所もある。エアコンなどによる人工的な「涼」もよいが、自然の「涼」を肌で感じるから様々な思いを巡らせる滝めぐり等に勝るものはないと感じるのは私だけだろうか。



「天滝(大屋町)」



「ガリシヤ大滝」



「布滝(関宮町)」



「川久保の祭村」